

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
 【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2015-155595(P2015-155595A)  
 【公開日】平成27年8月27日(2015.8.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-054  
 【出願番号】特願2014-30151(P2014-30151)  
 【国際特許分類】

E 0 2 F 9/08 (2006.01)

【F I】

E 0 2 F 9/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月11日(2015.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 1 の作業機の手摺装置は、下部走行体上に旋回装置を介して旋回フレームを設置し、

前記旋回フレーム上の前部の片側に運転室を搭載すると共に、後部にパワーユニットを搭載して上部旋回体を構成し、

前記上部旋回体における前記運転室の搭載部の反対側の外側部に頂部が前記上部旋回体の上面より上方に突出する手摺を立設し、

前記手摺より内側の上部旋回体の上面を前記上部旋回体の前後方向の少なくとも中間部から前記パワーユニット上に至る通路として用いる作業機の手摺装置において、

前記手摺を、前記上部旋回体に固定する下手摺と、この下手摺に取付ける上手摺からなる分割構造とし、

前記上手摺を前記下手摺に対して前記上部旋回体の内側に起伏可能に取付けると共に、

前記上手摺を前記上部旋回体の内側に倒した際に、前記上手摺で前記通路を遮断する構成にしたことを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

作業機を図 1 に示すように輸送トラック 2 上に搭載して輸送する際には、手摺 2 2 が輸送制限高さ H を超えないように、図 4 に 2 点鎖線で示すように上部旋回体 1 3 の内側に倒して輸送する。この場合、固定ピン 2 9 の操作部 2 9 a をつまんでガイド溝 3 0 a の固定溝 3 0 b から外し、操作部 2 9 a をガイド溝 3 0 a に沿って移動させて固定ピン 2 9 をブラケット 2 6 のピン孔 2 6 f から引き抜く。そして操作部 2 9 a を固定溝 3 0 c に嵌めて固定ピン 2 9 がピン孔 2 6 f から引き抜かれた状態を保つ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0031】

このように、上手摺24で通路18を遮断した状態において、操作部29aをガイド筒30の周方向に回して操作部29aを固定溝30bに嵌めることにより、固定ピン29が振動等によりピン孔20gから外れることを防止する。このように上手摺24を倒した状態においては、上手摺24は下手摺23の頂部より低くなるので、手摺22は輸送制限高さH以下とすることができる。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0036】

1：作業機、2：輸送トラック、3：下部走行体、4：旋回装置、5：旋回フレーム、6：作業用フロント、7：運転室、8：建屋、9：カウンタウエイト、10：燃料タンク、11：作動油タンク、12：前部カバー、13：上部旋回体、19a～19c：ステップ、20：手摺、22：手摺、23：下手摺、24：上手摺、26：ブラケット、26a：背板部、26b：底板部、26c：前板部、26d：縦板部、26e：軸、26f、26g：ピン孔、27：取付け板、27a：上板部、27b：縦板部、27c：長孔、27d：ピン孔、29：固定ピン、29a：操作部、30：ガイド筒、30a：ガイド溝、30b、30c：固定溝

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【請求項1】

下部走行体上に旋回装置を介して旋回フレームを設置し、

前記旋回フレーム上の前部の片側に運転室を搭載すると共に、後部にパワーユニットを搭載して上部旋回体を構成し、

前記上部旋回体における前記運転室の搭載部の反対側の外側部に頂部が前記上部旋回体の上面より上方に突出する手摺を立設し、

前記手摺より内側の上部旋回体の上面を前記上部旋回体の前後方向の少なくとも中間部から前記パワーユニット上に至る通路として用いる作業機の手摺装置において、

前記手摺を、前記上部旋回体に固定する下手摺と、この下手摺に取付ける上手摺からなる分割構造とし、

前記上手摺を前記下手摺に対して前記上部旋回体の内側に起伏可能に取付けると共に、

前記上手摺を前記上部旋回体の内側に倒した際に、前記上手摺で前記通路を遮断する構成にしたことを特徴とする作業機の手摺装置。